

バイクが好きです

PART
6

アライをつくる人はバイクが好きです。バイクで走る楽しさは、心と身体で覚えています。そして、バイクは人を活かすスポーツ、と信じてます。

ヨーロッパの国々では、バイクは乗馬や狩猟と同じ、王侯貴族も楽しむような、誰もが認めるスポーツです。国家元首にありながら、バイクがご趣味の方もいる。国名とお名前は申し上げられませんが、ブライトシルバーのSZ Ramを、お使いなので知りました。そうした事実が表わすように、バイクは文化の一つです。そんなバイクも日本に戻ると、たいした評価を受けていない。何かが突たと思っています。

そもそもバイクの発祥は、二十世紀初頭のヨーロッパ、上流階級の人々の、遊びの道具がルーツです。だから、生まれの優雅なことは、誰もが認める処です。だが、日本における生い立ち、そこまで優雅じゃありません。



バイクが立派なスポーツとして、
確かな地位を得られるように、
アライも一緒に頑張ります。

四十数年前の日本、まだ人々が貧しくて、自動車は高額の花の時代に、何とか買える乗り物として、世に出てきたのがバイクです。そんな生まれのせいでしよう、例えばゴルフと比べられると、今でも目下に見られ勝ち。納得できない話です。

情報革命の加速する二十一世紀は、心の健康が大きな課題になるでしょう。そんな世にあって、溢れる情報の渦を離れ、自分一人の世界を走るバイクは、心の迷いを払います。そして、バイクは、先を読み危険を回避する能力を高めるスポーツです。厳しい競争に対応できる、先を読む目をしっかり備えた、優れた人をつくります。バイクに乗らない人々も、そうしたバイクの優れた面に気づいて下さることでしよう。

バイクが立派なスポーツとして、確かな地位を得られるように、アライも一緒に頑張ります。安全こそがアライの使命、その本分は忘れません。そして、その安全はライダーの姿がどう映るかは、バイクの評価になるからです。

バイクは人を活かすスポーツです。人の心を豊かにする文化として、バイクを社会が受け入れる日は、日本の国でも必ず来ます。そんなバイクの未来を信じて、アライをつくる人は頑張ります。

バイク万歳！